

SDH 学習会

2017年5月29日に健康の社会的決定要因(Social determinants of health) 学習会を開催しました。

《参加者からの感想》

これまで職場会議の中でSDH（健康の社会的決定要因）の各論について読み合わせを行ってきました。今回の学習会で事例をSDHに当てはめて原因追求やその対策を考えるというグループワークを行いました。

各論ではしっかりと理解できなかった、実際の場面での考え方を学ぶことができました。

今回の学習会に参加して様々な事例を掘り下げていけばどこかで防ぐ手立てがあったのではないかと、これからどのように対応すると良いのかと考えることができました。これらの事を今後の患者様との関わりに役立てていく事で、より良い対応・介入に繋げていきたいと思えます。

社会的経済的要因、なかでも貧困は、人における疾病と死亡の最大の要因のひとつです。健康状態の差は、ライフスタイルや環境、保健医療の違いによって起こりますが、これらをまた決定しているのは政治的、社会的、経済的要因です。生まれついた社会によって健康格差ができることは、本人の責任ではなく、社会が引き起こしている不公平です。

欧米では、イギリスを中心として、健康や疾病の要因として社会経済的要因が検討されてきています。WHOのヨーロッパ事務局は、1998年に『健康の社会的決定要因：確かな事実』を公表し、2003年には第2版を発売しています。そこでは、10の要因についてまとめられています。

